

1 基礎分野

授業科目名 論理学

第二看護学科

1年次 前期

1単位（15時間）

I. 授業のねらい・目標

ねらい

論理的思考について理解し、表現力を高めることができる。また、適切な文章表現を学ぶ。

目 標

- 1) 文章作成の基本的な作法や用途に応じた文章の作成方法を理解できる。
- 2) 文章表現を通して、自分の意見を根拠や事実に基づきわかりやすい表現で相手に伝える方法を理解できる。
- 3) 他者の文章を読み、書き手の意見や主張を読み解き、読みやすさや適切な言葉の使い方を考えることができる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	理由と結論の関係を読み取る	講義・演習	
2	パラグラフライティングの概要、話題のまとまりを読み取る		
3	文章の要点を意識する		
4	要点に説得力を与える理由付けを意識する		
5	文章の概要を下書きし、段落構成を考える		
6	総論(文章全体の概要)を書く		
7	引用の役割と出典表記方法		
8	まとめ		

III. 使用テキスト・参考文献

講師資料

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物、参加状況

授業科目名 情報科学	第二看護学科 1年次 後期 2単位 (30時間)
------------	--------------------------------

I. 授業のねらい・目標

ねらい

社会や人間における情報を、科学的に処理する方法を学び、情報通信技術(ICT)を活用するための基礎を学ぶ。また、演習を通して、データの収集、整理、分析の方法を学ぶ。その際、「情報」に関する基礎的な知識、「情報」を取り扱う上で必要とされる情報倫理や患者の権利について理解する。

目 標

- 1) 情報の定義と特徴を学び、社会における情報の有用性と情報伝達のための手段である情報通信技術(ICT)の活用について理解できる。
- 2) 保健医療における情報の種類や活用と情報倫理や患者の権利について理解できる。
- 3) 既存の情報の検索や文字情報や数値などのデータの収集、整理、分析方法を学び、情報通信技術(ICT)を用いて効果的に他者に伝達する方法を理解できる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	ガイダンス、看護情報、情報倫理と法	講義・演習	
2	情報倫理と法、医療情報		
3	医療情報、情報基礎		
4	情報基礎、情報セキュリティ		
5	知的財産権、統計とは、厚生統計の基礎知識		
6	パソコンの基本操作、ビジネス文書とは		
7	ビジネス文書の作成		
8	表現力をアップする機能、テンプレートを利用した文書、段組み/差し込み印刷		
9	Excel2013 について、表作成		
10	グラフ作成		
11	分析ツール、データベースさし		
12	ピボットテーブル、複数シートの操作		
13	プレゼンテーションの概要、PowerPoint について、スライドの作成		
14	スライドの作成/編集		
15	スライドショーに役立つ機能、Webによる情報収集		

III. 使用テキスト・参考文献

講師資料

※USB フラッシュメモリを各自で準備する

参考文献: 大木秀一「看護統計学入門」医歯薬出版

日本医療情報学会「新版 医学情報学第5版 医療情報システム編、情報処理技術編、医学・医療編」篠原出版新社

太田勝正、前田樹海「エッセンシャル 看護情報学第2版」医歯薬出版

一般財団法人 厚生労働統計協会「厚生統計テキストブック」一般財団法人厚生労働統計協会

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等

授業科目名 心理学	第二看護学科 3年次 前期 1単位（30時間）
-----------	-------------------------------

I. 授業のねらい・目標

ねらい
人間の心理と行動を知り、自己を理解して他者を理解する視点を学ぶ。さらに、成長発達に伴う特徴と変化を知り、その個別性について学ぶ。
目 標
1) 人間の心理を行動や発達といった種々の視点から学び、目には見えない心の仕組みを論理的に解明するための基礎的知識を理解できる。
2) 人間の行動から人の心のありようを推察し、自己及び他者の理解につながる考察をすることができる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容		講義・演習	備考
1	心理学	心の発達について	講義・演習	
2		人格の発達		
3		知的能力の発達		
4		学習のはたらき：行動変容について①		
5		学習のはたらき：行動変容について②		
6		欲求とストレス①		
7		欲求とストレス②		
8	臨床心理学	自己理解を深める		
9		フィードバックとグループプロセス		
10		基本の傾聴		
11		アサーションとリフレーミング		
12		積極的傾聴		
13		自己表現とコンセンサス		
14		チームワークとリーダーシップ		
15		ストローク～ディスカウントと肯定的レスポンス～		

III. 使用テキスト・参考文献

講師資料

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等

授業科目名 教育学	第二看護学科 2年次 前期 1単位（30時間）
-----------	-------------------------------

I. 授業のねらい・目標

ねらい

教育の本質と理念を学び、看護における教育的活動の基礎を学ぶ。生涯教育の必要性について理解し、学び続ける姿勢を身につける。

目 標

- 1) 教育を学ぶことの意義やその歴史を理解し、人間社会における教育の重要性を考えることができる。
- 2) 「学ぶ・教える」という関係性の中で、人間の成長・発達や教育環境の在り方について考えることができる。
- 3) 教育の目的・目標、教授方法や評価について理解できる。
- 4) 生涯教育の意義やその方法について理解できる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備 考
1	人間の成長と教育の意義	講義	
2	看護と教育		
3	学校教育制度		
4	学校教育制度		
5	家庭教育		
6	家庭教育		
7	教育の目的		
8	教育の目的		
9	教育方法		
10	教育方法		
11	教育評価		
12	教育評価		
13	障害者の教育		
14	生涯学習（成人教育・人権教育・多文化教育を含む）		
15	生涯学習（成人教育・人権教育・多文化教育を含む）		

III. 使用テキスト・参考文献

講師資料

IV. 成績評価の方法

筆記試験 等

授業科目名 社会学	第二看護学科 1年次 前期 1単位（30時間）
-----------	-------------------------------

I. 授業のねらい・目標

ねらい

人間の社会の構造や役割、関係等を知り、社会的存在としての人間を多面的に学ぶ。人間として基本的な権利とそれに対する社会的知見を理解する。

目 標

- 1) 個である人が様々な社会集団に帰属し、人々とつながりを持ちながら生きていることを理解できる。
- 2) 家族・親族・種々のコミュニティ・国家・国際社会など、様々な社会集団や集団間の関係を知り、社会的存在としての人間を理解できる。
- 3) 集団や人間社会に通用する価値・規範・制度の体系を学び、社会構造を理解できる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	イントロダクション 社会学 社会とは	講義	
2	私という存在		
3	地位と役割		
4	文化		
5	コミュニケーション		
6	人を動かし制御する見えない力		
7	性・ジェンダー		
8	家族（1）		
9	家族（2）		
10	社会変動		
11	情報化社会		
12	マネジメント（1）		
13	マネジメント（2）		
14	労働		
15	格差		

III. 使用テキスト・参考文献

系統看護学講座 基礎分野 社会学 医学書院

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物、参加状況

授業科目名 人間関係論	第二看護学科 2年次 後期 1単位（15時間）
-------------	-------------------------------

I. 授業のねらい・目標

ねらい 人間関係を多面的に捉え、自己の他者へのかかわり方を理解し、自己成長することができる。カウンセリング理論と技能を学び、人間の心の機能の理解を深める。 目 標 1) 人間関係の意義や社会的相互作用について学び、人間理解、対人関係の持ち方、人間関係の構築のあり方について理解できる。 2) 対人関係における自己を理解し、良好な対人関係を築くための方法を理解できる。
--

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備 考
1	オリエンテーション・パーソナリティ理論	講義・演習	グ ル ー プ ワ ー ク
2	パーソナリティの自己分析		
3	気分・感情の評価		
4	ストレス理論・対人援助職特有のストレス理解		
5	集団とリーダーシップ・メンバーシップ		
6	アサーションの理論と演習		
7	カウンセリング的アプローチ①かかわり行動・質問技法		
8	カウンセリング的アプローチ②反復技法・感情の反映		

III. 使用テキスト・参考文献

講師資料

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物 等

授業科目名 英会話	第二看護学科 1年次 後期 1単位（15時間）
-----------	-------------------------------

I. 授業のねらい・目標

ねらい
国際化に対応するために、演習を通して看護場面での実践力をつける。
目 標
1) 主な看護場面で行われる看護師との会話を想定したコミュニケーションをとることができる。
2) 外国人との対話場面を通して、生活様式や価値観の違いを知り、対応の仕方を理解できる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	Introductions and Class Information	講義・演習	
2	Unit1:Meeting a new patient		
3	Unit2:Talking about symptoms		
4	Unit3:Doing the rounds		
5	Unit4:In-patient orientation ①		
6	Unit4:In-patient orientation ②		
7	Unit5:Explaining medication		
8	Midterm Review		

III. 使用テキスト・参考文献

Bedsides Manners Beginner

IV. 成績評価の方法

筆記試験（小テスト含む）、提出物、参加状況
